

プラグインハイブリッド自動車排出ガス・燃費測定方法案に係る意見募集結果の概要及び国土交通省の考え方

いただいた主なご意見の概要	国土交通省の考え方
<p>1. 全体的には、良く仕上がった排出ガス・燃費測定方法であると評価しております。現在、本検討会の他にはバッテリーの劣化を何らかの考慮に入れている機関/省庁はありませんので「(5) バッテリー劣化の影響について」は、非常に重要な点として議論が続けられるべきです。これはエミッションと燃費への影響があることから、OBDシステムにとっても非常に重要なポイントであり、バッテリーはエミッションに関係のある部品の一つとしてモニターされるべきです。</p>	<p>ハイブリッド自動車のバッテリー劣化の影響については、引き続き調査を行うこととしております。</p>
<p>2. PHEVの試験方法は他国（たとえば米国）においても検討中であります。国際的に調和された試験方法は、試験走行サイクルが違ったとしても全ての自動車メーカーに高いベネフィットをもたらします。ぜひ、国際的な試験方法の調和を検討していただきたい。</p>	<p>国連欧州経済委員会 (UN/ECE) 自動車基準調和世界フォーラム (WP29) の会合において、PHEVの試験方法について日本提案を行うこととしております。</p>